



2007年10月13日

【重要】液体ヘリウム購入量減少に伴う使用量削減のお願い

先日（9月13日付け）の極低温科学センターだより（号外）にお知らせしましたように、アメリカの日本向けヘリウムの輸出が削減されることに伴い、東北大学においても10月より**ヘリウムの購入に制限**がかかりはじめました。現在注文した量の**5－7割しか購入できていない**状況です。11月以降には完全に納入できなくなる可能性もあるという業者からの連絡もありました（そうならないよう業者と交渉中です）。

購入量減少で極低温科学センター低温科学部でのヘリウム貯蔵量も減少することより、ヘリウムの利用に関して

- ・単に保冷しているだけ等の無駄なヘリウムの利用はさける
- ・なるべく使用量を抑えるような効率のよい実験を考える
- ・急を要しない実験はなるべく来年の1月以降に回す

（業者からの情報では1月からは通常通り購入できる可能性大ということ）

といった研究計画の再確認と変更をお願いいたします。また液体ヘリウムを月500L以上使用するヘビーユーザーの研究室に関しましては

- ・使用量を通常の7－8割程度に抑える

ということを強くお願いいたします。今後、注文に際してご希望に添えない場合も生じるとはありますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

回収率の向上も大きな防御策です。特に

- ・ヘリウム汲み込み時のガスの流出
- ・安全弁やバルブ、ウィルソンシール栓等の不具合による日常のガスの流出
- ・ホース等の劣化によるガスの流出

といったことが考えられます。こちらについても各研究室でご検討願えれば幸いです。

回収率の悪いと思われる研究室に関しては、こちらで出向いて検査させていただくこともありますのでよろしくお願いいたします。回収率につきましては、おかげさまでH19年前期に比べ、上昇傾向にはあります（平均回収率は85%以上）。しかし現在の回収率でも、完

全に購入を停止した場合、単純計算でその後約一ヶ月程度しか供給が続けられないという結果になります。更なる向上に向けて努力していただくようよろしくお願いいたします。

この件に関する問い合わせ先

極低温科学センター低温科学部（片平）

野島（内 2167） nojima@imr.tohoku.ac.jp